|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

|  |
| --- |
| 総務省・統計局消費者物価指数　５月（6/21発表） |
|  | 対前年同月比（％） | 指数（2020年平均を100とする） |
| **総　合** | **2.8％** | **108.1** |
| **生鮮食品を除く総合** | **2.5％** | **107.5** |
| **生鮮食品およびエネルギーを除く総合** | **2.1％** | **106.6** |
| **食　品** | **4.1％** | **116.8** |

**人事院の民間給与実態調査が６／１４に終了**

物価高騰が続く！　５月（２０２４年６／２１公表）も、対前年同月比は２・５％上昇！

物価高騰に見合う賃金引上げ勧告を実施させよう！

東京国公だより67号・関ブロ国公だより18号

**2024年6月24日　発行**

**東京国家公務員・独立行政法人労働組合共闘会議　　国家公務関連労働組合関東ブロック協議会**

**メール****アドレスuematsu@tk-kokko.org****東京国公HP**[**http://tk-kokko.org/**](http://tk-kokko.org/)

＊電気・ガス料金に関わっての政府補助（５月で終了＝６月検針分で終了）がなければ消費者物価は4％超えでした＊

物価上昇が33ヵ月連続、2％以上の上昇が26ヵ月も続いています。政府はエネルギー価格の高騰を受けて、電気代・ガス代の補助金制度を2023年1月よりスタートさせました。（当初補助は2023年9月までの予定でしたが、物価高騰などの影響もあり、政府は2024年5月使用分までは補助を延長すると発表していました）　この補助がなければ物価上昇は4％を超えていたでしょう。例えば1年前の2023年4月の物価は総合で3.5％の上昇でした。総務省の発表によれば、この月、政府の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」によって、電気代で0.83％、都市ガス代で0.16％、合計0.99％の物価引下げ効果があったと試算しています。従って補助がなければ4.4％の物価上昇となっていたことになります。

＊物価指数は一般的には、「生鮮食品を除く総合」の数値を使います。総務省によれば、「価格変動が激しい生鮮食料品を加えた総合では、同一条件下での比較ができないから」と説明しています。しかし国民に日々の生活ではお刺身など生鮮食品は、日常的に購入するので、やはり「総合」の指数が実感に近いと思います。

**どうにも止まらない！物価高騰　物価高騰抑制はまさに賃金闘争！**

**2024年4月時点で、25カ月も連読して実質賃金が低下しているのは、激しい物価高騰によるものです。５月の消費者物価から見て、５月の実質賃金下落は間違いなさそうです。**

**生活を守るという点では、物価を抑制させる課題と賃金引上げの課題はまさに一体ではないでしょうか？！**

❶消費者物価・5月分２．5％上昇―総務省統計局6月21日発表―

5月の消費者物価は対前年同月比では、2.5％上昇（生鮮食料品を除く総合＝一般的にはこの数値をもって示される）です。これで対前年同月比上昇は33カ月連読です。また2％以上の上昇は26カ月連続です。日銀の物価安定目標は2%以上を強調してきましたが、生鮮食品とエネルギーを除く総合指数でも２．１%の上昇です。 食料全体では対前年同月比4.1％の上昇で、依然は高い水準で推移しています。

＊2023年の対前年比の物価

　**・総合3.2％上昇・生鮮食料品を除く総合3.1％上昇・生鮮食料品・エネルギーを除く総合4.0％上昇**

＊2022年の対前年比の物価

　**・総合2.5％上昇・生鮮食料品を除く総合2.3％上昇・生鮮食料品・エネルギーを除く総合1.1％上昇**

＊2021年の対前年比の物価

　**・総合－0.2％・生鮮食料品を除く総合－0.2％・生鮮食料品・エネルギーを除く総合－0.5％**

＊2020年の対前年比の物価

　**・総合0.0％・生鮮食料品を除く総合－0.2％・生鮮食料品・エネルギーを除く総合0.2％上昇**

＊2019年の対前年比の物価

　**・総合0.5％上昇・生鮮食料品を除く総合0.6％上昇・生鮮食料品・エネルギーを除く総合0.6％上昇**

❷対前年同月比の物価上昇、この一年の推移

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 2023/2 | 2023/3 | 2023/4 | 2023/5 | 2023/6 | 2023/7 | 2023/8 |
| 3.3％3.1％ | 3.2％3.1％ | 3.5％3.4％ | 3.2％3.2％ | 3.3％3.3％ | 3.3％3.1％ | 3.2％3.1％ |
| 2023/9 | 2023/10 | 2023/11 | 2023/12 | 2024/1 | 2024/2 | 2024/3 |
| 3.0％2.8％ | 3.3％2.9％ | 2.8％2.5％ | 2.6％2.3％ | 2.2％2.0％ | 2.8％2.8％ | 2.7％2.6％ |
| 2024/4 | 2024/5 | 2024/6 | 2024/7 | 2024/8 | 2024/9 | 2024/10 |
| 2.5％2.2％ | 2.8％2.5％ | (６月分は７月19日公表予定) |  |  |  |  |
| 上段％は総合消費者物価指数の対前年同月比、下段は生鮮食料品を除く総合物価指数の対前年同月比 |

物価高騰を超える賃金引上げがなければ生活は維持できません！